

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和2年 12月 22日

和泉市長 あて

団体名 内田町ボランティア 蛍の会

代表者名 田中 数也

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	蛍の放流・鑑賞会
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 464,000 _____ 円 (うち、対象経費 _____ 464,000 _____ 円)
支援金 交付申請額	_____ 232,000 _____ 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第7条関係）

団体概要調書

フリガナ	ウチダチョウボランティア ホタルノカイ		
団体名	内田町ボランティア 蛍の会		
市内事務所の所在地	電 話		FAX
フリガナ	タナカ カズヤ		
代表者氏名	田中 数也		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名）※		電 話
	フリガナ		（ ）
	上記同上		FAX
	（ ）		（ ）
設 立 年 月	平成15年 5月	主な活動地域	内田町ひつじの公園内 蛍の小川
会報等の発行	有（ 回発行）・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	会員数	20人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
団体の目的	開発や造成工事などで自然環境の悪化が進行し、幼少期にこの地域で見られた蛍が全く見れなくなりました。そこで、もう一度この地域から蛍が見れるようにし、少しでも自然環境の改善に関心をもってもらう活動をしています。		
主な事業内容	年間を通じて、小川の清掃を行い蛍の餌となるカワニナや、メダカ、ドジョウを放流し年に一度、蛍の放流・鑑賞会を実施。		
主な活動の実績	活動当初はこの地域に蛍が全く見られたかったものの、現在数は少ないが、自生しています。		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	30	ちよいず	216,900円
	R元	ちよいず	214,727円
	R2	ちよいず	0円(コロナにより中止)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	蛍の放流・鑑賞会	
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース	
3 事業の必要性（※別紙添付可）		
① 業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等		
近年、和泉市では開発や造成工事が進み、住民が増加していますが、その一方で自然環境が悪化しており、以前なら多く見られた蛍が姿を消しつつあることに危機を感じています。		
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果		
イベントを通じて、世代間の交流が生まれ、蛍の幻想的な乱舞を肌で感じてもらうことで自然環境への関心をより一層深めてもらい、自然環境の改善につなげていくことで、将来的には、蛍が自生出来るような環境になればと考えています。		
4 事業内容（※別紙添付可）		
年間を通じて、小川の清掃を行い蛍の餌となるカワニナや、メダカ、ドジョウを放流し年に一度、蛍の放流・鑑賞会を実施。		
②実施期間（日時）	令和3年6月中旬（日は現在未定）	
③実施場所	和泉市内田町三丁目 ひつじ公園 蛍の小川	
④主な対象者	全ての市民市外の方	
⑤参加予定者数	2,000人	
⑥告知方法	SNS等	
5 事業スケジュール		
次期（月）	内容	
通年	小川清掃 蛍の放流・鑑賞会（6月） イベント等	

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	特定の人に限定せず、広く地域以外の方にも当イベントに参加して頂き、蛍を参加者自ら放流する等蛍を身近なものと感じていただくことによって、自然環境について少しでも考えて貰える機会となり、社会貢献の増進に繋がると考えている。
② 継続性	15年以上も継続している事業である。 本事業が自然環境について考えるきっかけとなり、自然環境への関心が深まっていけば、自然環境の改善にも繋がっていくと考えている。 補助金だけでは無く、来場者の募金や、子ども用の出店等で財源確保に努めている。
③ 実行性	自然環境への関心をもってもらうため、来場者が自ら蛍を放流できる機会を設けており、近くで蛍を鑑賞することができるイベントとなっている。 地元の構成員と、桃山大学生らのボランティア参加によって人材の確保をしている。 イベント当日はたくさんの方が来るため、警備や駐車場誘導の体制も整えている。
④ 協働性	特定の人に限定せず、広く地域以外の方にも鑑賞してもらい、交流イベントを通じて、世代間の交流が生まれ、蛍の幻想的な乱舞を肌で感じてもらうことで自然環境への関心をより一層深めてもらう。 町会や桃山大学生らボランティアの協力もあり、事業を実施している。
⑤ 公開性	SNS等を活用し、情報発信をしている。こども向けの体験型イベントを催し、特定の人に限定せず、広く地域以外の方にも鑑賞してもらい、自然環境への関心を持ってもらう。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	近年、蛍の鑑賞を出来る地域は限定されており、蛍を実際に見たことがない方々、また、もう一度蛍を見たい、子どもに自然に触れて欲しいという方々が増えております。本イベントでは蛍を放流することや近くで鑑賞することができます。年々参加人数は増加していると思われ、広くひろがりを見せるイベントとなっていると考えています。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 蛍の放流・鑑賞会

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	232,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	180,000円	募金額並びにイベント収益費
自主財源	52,000円	町会協力費 50,000円 団体負担金 2,000円
合計	464,000円	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
原材料費	250,000円 5,000円	源氏ホタル幼虫 1,000匹 @250円 セメント材
報賞費	4,000円	講師謝礼
委託料	75,000円	駐車場誘導・警備費、小川小屋補修整備費
消耗品費	120,000円	ホタル方流用コップ、イベント用品
食料費	6,000円	飲料水 @200円×30人
役務費	4,000円	ボランティア保険代（30名分）・指定 ゴミ袋
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	464,000円	
対象経費	464,000円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。